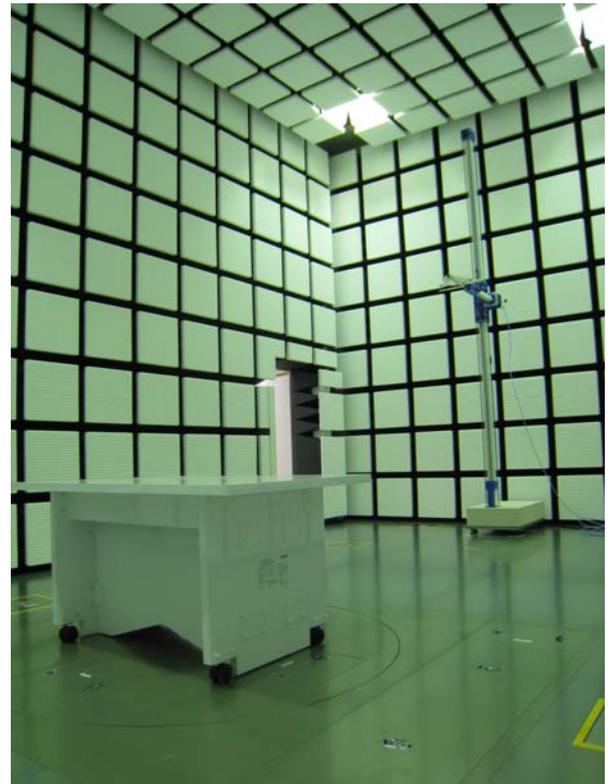


JET 横浜事業所 新電波暗室が始動

JETでは、EMC測定業務のサービス向上を目指し、横浜事業所敷地内に「3m法電波暗室」の建設をしていましたが、この度、平成21年9月17日に竣工式を行い10月1日より運用を開始する運びとなりました。また、昨今の規格・規制の動向に対応するためにGHz帯まで測定可能な測定装置等の導入も行いましたので、幅広い測定にご利用頂けるようになりました。

3m法電波暗室 外観及び内部の写真



3m法電波暗室のスペック表

	3m 法電波暗室	シールド室
有効寸法 L×W×H(m)	8.1 × 5.1 × 5.25	5.8 × 4.6 × 2.7
扉寸法 W×H(m)	1.2 × 2.0 (段差なし)	1.0 × 2.0 (段差なし)
測定距離 (m)	3.0	—
ターンテーブル 直径(m)	2.0	—
許容荷重(kg)	500	—
電源容量(kVA)	4.0 (単相)	4.0 (単相)

1. GHz 帯の測定への対応

近年、パソコン・インターネットの高速化、無線 LAN や RFID の普及など、身の回りで便利に使っている製品の高速化・無線利用が拡大してきています。製品が進化すれば規格もそれに追従していく必要があります。米国の FCC 規則においては最高 40GHz まで測定が要求される規定もあります。最近では CISPR 規格でも IT 機器に対して 6GHz までの測定が要求されており、更に、VCCI や欧州 EMC 指令、中国 CCC などでも GHz 帯の規制が始まりつつあります。また、国内の電気用品安全法においても GHz 帯の測定の要求が追加される見込みとなっています。

このような規格・規制の動向に対応するために、JET では、GHz 帯まで測定可能な測定装置等を導入しました。導入した測定装置は、最高測定周波数 40GHz、RMS-average 測定や APD 測定にも対応したドイツ Rohde & Schwarz 社の最新のテストレーサーであり、アンテナは、ノイズフィギュアが良好なプリアンプと一体型の高利得・高性能なものを備えています。JET 横浜事業所の「10m 法電波暗室」は GHz 帯のサイト要求 SVSWR をテストボリューム 3m で実現していますので、さらに実用性が高く幅広い測定にご活用頂けるようになりました。是非ご利用ください。

2. JET 横浜事業 EMC 試験センターの特徴

JET 横浜事業所の EMC 試験センターでは、今回運用を開始した「3m 法電波暗室」の他、「10m 法電波暗室」を 1 基、イミュニティ専用電波暗室(3m 法)を 1 基、「シールド室」を 3 基備えており、以下の特徴を有しています。

1) 最新鋭の設備

- ・FCC の 40GHz に対応
- ・IEC610004-13(IEC60335-1 で要求されるイミュニティ試験)
- ・自動車が入庫可能なバリアフリー搬入口(10m 法電波暗室)
- ・給排水設備、排気設備を完備しており、多種多様な製品に対応
- ・その他、設備の詳細については、本誌 vol.43(前号)をご参照ください。

2) ワン・ストップ・テストング(OST)

- ・横浜事業所には CB 証明書を発行できる安全試験部門があり、EMC の CB 証明書発行との OST を行います。
- ・世界各国の規格に基づく適合性試験『電気用品安全法、CISPR、VCCI、FCC(米国)、EN(欧州：CE マーキング)、CCC(中国)、KC マーク(韓国)等』の OST を行います。また、11 月には VLAC 認証の取得を予定しています。
- ・国内外の申請代行サービスを行っていますので、詳細は下記の【お問い合わせ先】にてご案内致します。

3) アクセス

第二京浜国道の尻手 2 丁目交差点から車で約 3 分のアクセス良好な場所にあり、サンプル搬入が容易で、かつ、試験立会者の移動時間などのコスト削減もできます。なお、公共機関では、JR 南武線「尻手駅」又は京浜急行線「鶴見市場駅」より徒歩 10~15 分、タクシーは JR 川崎駅より約 10 分になります。

【お問い合わせ先】横浜事業所 EMC 試験センター 測定グループ

TEL:045-582-2504/FAX:045-582-2270

E-mail:jet-emc@jet.or.jp